

別表 9 (第 43 条関係)

総合防災訓練 災害想定

建物の概要 (所在地、階数、構造、延床面積、用途等)	札幌市あいの里
発地震の情報(震度、時間、曜日等)	直下型震度6強、地震発生日時:11月(平日)、午後3時30分
その他のシナリオ条件(教職員学生数、火気使用状況、天候、温度等)	実験室内で火気使用、天候は曇り 公共交通機関は運行を停止、ガス、電気、水道が停止、橋梁は点検のため通行止め

被害種別と考慮すべき態様	番号	① 被害想定(被害の具体的事象)	② 防火防災安全上の目標設定	対応行動の具体化	
				③ 応急的対策事項	④ 予防的事項
1. 建物等の基本被害	1	軽微なひび割れ等の発生。	深刻な被害の防止。	建物の損傷箇所を目視・確認する。	施設課職員に応急危険度判定士を配置。
	2	エキスパンションカバーの脱落。	落下防止。	立ち入り禁止措置をとる。	落下防止対策。
	3	外壁、窓ガラスが割れ落下。	負傷防止。	落下の恐れのある部分の撤去、立ち入り禁止措置。	避難経路上の危険箇所の把握。
2. 建築設備等被害	4	受変電設備に異常発生。	二次災害防止。	ブレーカー遮断。 発電機手配。	緊急時遮断ブレーカー設定。 発電機の調達先決定。
	5	エレベーターで閉じ込め発生。	閉じ込め者の救出。	エレベーター会社に連絡。 エレベーター内の状況確認。	EV会社による救助訓練実施。
	6	ガス配管が損傷し、ガス漏れが発生。	ガス爆発防止。	元栓を閉鎖し、火気使用禁止、窓を開放し換気を行う。	ガス漏れ警報器設置。 ガス管点検実施。
	7	ボイラー停止により室温が低下。	健康被害防止。	防寒着を着用させ、防寒上有利な避難場所へ集合させる。	採暖用品備蓄。
	8	送水ポンプ停止。	安定的な給水。	飲用水、トイレ洗浄水の確保。 受水槽の水質確認。	仮設電源確保。

3. 避難施設等被害	9	避難経路の内装材落下。	避難経路確保。	落下の恐れのあるものを撤去し、散乱物を片付ける。	落下防止対策。
	11	防火扉の閉鎖不能。	防火区画形成。	手動操作。	支障物品の排除。
	12	屋外階段が積雪、凍結のため滑落の危険。	事故防止。	除雪、砂まき等滑落防止。	定期的除雪、滑り止砂用意。
4. 消防用設備等	13	屋内・屋外消火栓使用不能。	初期消火体制の確保。	代替消火手段確保。	消火器の配置。
	14	火災感知器機能停止。	早期の火災発見。	巡回監視の強化。	
5. 収容物等被害	15	棚から物品が落下。	落下防止。	危険物の除去。	落下防止措置。
	16	油・灯油・薬品の漏洩。	二次災害防止。	収納状況確認。	危険薬品等把握。 吸着材等用意。
	17	棚等転倒。	転倒防止。	転倒状況確認。	棚固定の強化。
6. 通信被害	18	内線電話破損。	通信手段の確保。	無線機等連絡体制確保。	無線機確保。
	19	通信規制。	情報不足による混乱を防ぐ。	ラジオによる情報収集。 学内外へ情報伝達。 報道機関等へ安否情報提供。	情報の収集、集約、発信の訓練実施。 報道機関への公表内容検討。